

2 積の微分公式を用いて次の関数を変数 x で微分せよ.

a) $f(x) = (x^2 + 3)(x^2 - 2x + 2)$

$f'(x) =$

b) $f(x) = (x^2 - x + 1)(x + 1)$

$f'(x) =$

3 $f(x)g(x)h(x) = (f(x)g(x))h(x)$ であることと積の微分公式を用いて 3 つの関数の積の導関数 $(f(x)g(x)h(x))'$ を求めよ.

4 関数 $g(x)$ に対し, 関数 $\frac{1}{g(x)}$ の導関数を求めたい. そこで, $f(x) = \frac{1}{g(x)}$ とおき, $f'(x)$ を求める. 分母を払った式

$$f(x)g(x) = 1$$

の両辺を微分すると, 積の微分公式により

$$\boxed{} = 0$$

を得る. これを $f'(x)$ について解くと,

$$f'(x) =$$

となる. ここで, $f(x)$ を $\frac{1}{g(x)}$ で置き換えて整理し, すべてを $g(x)$ と $g'(x)$ で表して, 次の公式を得る.

$$\left(\frac{1}{g(x)}\right)' = \boxed{}$$

5] $\frac{f(x)}{g(x)} = f(x) \times \frac{1}{g(x)}$ である. この右辺を積の微分公式を用いて微分し, 問題 4 の微分公式を用いることにより, 商の微分公式 $\left(\frac{f(x)}{g(x)}\right)'$ を求めよ.

6] a) n が自然数であるとき, 二項定理により

$$(x+h)^n = x^n + {}_n C_1 x^{n-1} h + {}_n C_2 x^{n-2} h^2 + \cdots + {}_n C_{n-1} x h^{n-1} + h^n$$

である. これを用い, 関数 $f(x) = x^n$ の導関数を定義にしたがって求めよ.

b) 問題 4 で求めた公式において $g(x) = x^n$ とおくことにより, $\left(\frac{1}{x^n}\right)'$ を求め, なるべく簡単にせよ.

c) b) の結果を負の数の指数を用いて表すことにより $(x^{-n})'$ を負の指数を用いた形で表せ.

7 次関数を変数 x で微分せよ.

a) $f(x) = \frac{1}{6x^3}$

$f'(x) =$

b) $f(x) = \frac{x^4 + 3x - 2}{x^2}$

$f'(x) =$

c) $f(x) = \frac{x - 5}{x^2 + 5}$

$f'(x) =$

d) $f(x) = \frac{x^2 - 1}{x^2 + 1}$

$f'(x) =$

e) $f(x) = \frac{x}{x^2 - x + 1}$

$f'(x) =$

f) $f(x) = \frac{x^2 + 5x}{x - 4}$

$f'(x) =$